# ITS世界会議東京2013
# 開催概要報告

2013年11月26日

日本組織委員会プログラム部会長
& ITS Japan　国際委員会委員長
尾﨑信之

20th ITS WORLD CONGRESS TOKYO 2013

ITS Japan

20th ITS WORLD CONGRESS TOKYO 2013

# 会議概要

ITS Japan

会場　　:10月14日東京国際フォーラム
　　10月15-18日東京ビッグサイト
主催　　:日本組織委員会・東京都・ITS Japan
組織委員会委員長　　:渡邉浩之（ITS Japan会長）
副委員長　　:猪瀬直樹(東京都知事)
世界会議理事会議長　:矢野厚（住友電工常務取締役）

【会期】　　:　2013年10月14日（月）-18日（金）
【会議テーマ】　　:　“Open ITS to the Next”

【参加国】　　:　65カ国
【会議参加/登録者】　:　3,940人
【会議・展示会参加者】:　20,691人
【プレス】　　:　494人

東京ビッグサイト

# 開催テーマ

## 開催テーマ　Open ITS to the Next

「交通事故や渋滞などの課題の解決」

「電気自動車などの普及による
　エネルギーマネージメント分野との連携」

「ネットワーク化社会における
　新たなビジネス機会の創出」

「東日本大震災の教訓を活かした
　レジリエントな交通社会の実現」

## Openをキーワードにした4つの軸

- Open platforms
- Open connectivity
- Open opportunities
- Open collaboration

## プログラムコンセプト

1.Safety and traffic management
　交通安全・渋滞の解消へのさらなる取り組み

2.Next generation mobility and sustainability
　持続可能な交通社会の実現に向けた次世代モビリティへの
　取り組みとエネル ギーマネージメントとの融合

3.Efficient transport systems in mega cities/regions
　メガシティにおける人とモノの移動の効率化

4.Intermodal and multimodal systems for people and goods
　人の移動・モノの輸送におけるインターモーダル・マルチモーダル

5.Personalized mobility services
　モバイル機器等を用いたモビリティのための個人向けサービス

6.Resilient transport systems for emergency situations
　レジリエントな交通社会システムの構築

7.Institutional issues and international harmonization
　グローバル連携や共通の課題解決に向けた取り組み

# 開会式

**10月14日（月）16：00-17：30**

渡邉組織委員長の開会挨拶に引き続き、安倍総理大臣からのビデオメッセージが届けられ、日本の伝統的な“よさこい節”をベースとしたエンターテインメントを挟みながら進められました。

渡邉浩之組織委員長

安倍晋三総理大臣
（ビデオメッセージ）

20th ITS WORLD CONGRESS TOKYO 2013

# 開会式

ITS Japan

## オープニングスピーチ

国家公安委員会委員長
古屋圭司
（開催国代表）

東京都知事
猪瀬直樹
（ビデオメッセージ）

ITS アジア太平洋事務局長
天野肇
（アジア太平洋）

Econolite 社長
/ITS America会長
Devid St. Amant
（米国）

ERTICO CEO
Hermann Meyer
（欧州）

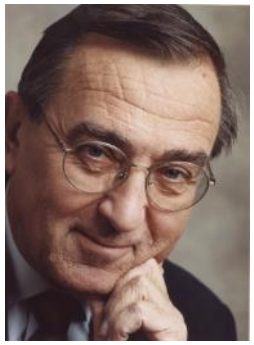
# 開会式表彰式（1/2）

## 功労者表彰
## Hall of Fame

注）米国、Chinese-Taipei
の出席者は代理

欧州： Dr. Risto Kulmala（フィンランド），
Principal Advisor on ITS,
Finnish Transport Agency – FTA

米国： Mr. Harry Voccola,
NAVTEQ（米国）



アジア太平洋： Dr. Mao Chi-Kuo,
行政院副首相（台湾）

# 開会式表彰式（2/2）

## Industry Award

欧州　：　Civitronic（ルーマニア）
米国　：　Econolite（米国）
アジア太平洋　：　Transport Certification Australia（TCA）（オーストラリア）

注）米国の出席者は代理

## Local Government Award

欧州　：　リヨン都市共同体（フランス）
米国　：　オレゴン州運輸省 Office Innovative Partnerships and Alternative Funding（米国）
アジア太平洋　：　ソウル市 - TOPIS（韓国）

注）韓国の出席者は代理

# セッション

**トータルセッション数： 232（内22セッションは台風によりキャンセル）**
**論文採用数： 638（投稿数：747）**

PL

プレナリーセッション（PL） 3
エグゼクティブセッション（ES） 12
スペシャルインテレストセッション（SIS） 65
ホストセレクティッドセッション（HS）＊ 18
テクニカル/サイエンティフィックセッション（TS） 125
インタラクティブセッション（IS） 9

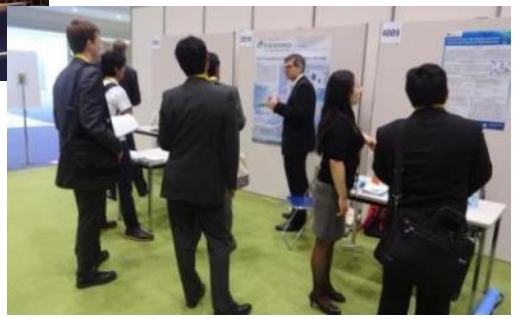
ES

SIS

＊）HS：
AP地域のITSの活動を特に選別し束ね、海外に向けた一層のアピールを目指して企画。

選定要件：
1）Host地域であるAP地域のオーガナイズセッション
2）内容が主にAP地域の活動を中心に据えているセッション

IS



20th ITS WORLD CONGRESS TOKYO 2013

# プレナリーセッション1

ITS Japan

**10月15日（火）9:00-10:30**　聴講者：約580人

**タイトル：**

**Open ITS to the Next : Aims and issues in moving towards the next stage**

国土交通省国総研
高度情報化研究
センター長
塚田幸広

カリフォルニアDOT
ディレクター
**Malcolm Dougherty**

モデレータ

NHK記者、「Biz＋サンデー」
キャスター
飯田 香織

欧州委員会
DG MOVE
総局次長代理
**Fotis Karamitsos**

インドネシア
運輸省副大臣
**Bambang Susantono**

# プレナリーセッション1



## パネルディスカッションにおける主な話題

| | 話題 |
|---|---|
| 1 | 東京オリンピック・パラリンピックでは公共交通と乗用車が情報共有し、TMSの一環としてP&Rなどの適用により、シームレスなトランスポートを目指す必要がある。 |
| 2 | カルフォニア州が環境対策に積極的なのは、政治的意思が入っていて、昔から取り組んでいるから。交通問題はCO2を多く輩出する為、土地利用の青写真なる計画の下、きちんと議論している。 |
| 3 | インドネシアでは道路容量・交通容量ともに限界にきているので、スマートホンにより、効率的に管理しなければならない。SNSを用いたカーシェアが盛んである。 |
| 4 | 日本が東日本大震災で学習したことは、パブリック・プライベートを通したビックデータのプラットホームが平常時、非常に双方において必要であり、「今何が起きているのか？」、「安全なところはどこか？」がすぐにわかる必要がある。 |
| 5 | インフラ整備の費用は米国では特に距離課金がポイントになる。しかしながら、移行するのは難しい。インドネシアの場合は、PPPのフレームワークは難しいため、国が何らかの支援をしている。 |
| 6 | 自動運転はOEMに少しずつ浸透してきており、技術はすくそこまで来ているという感じだが、法制化とアクセプタンスはまだまだである。欧州では乗用車より商用車の方が先に普及するかもしれない。また、インフラの観点から高品質のデジタルマップなど自動運転技術に貢献するものは多々あると思われる。 |

20th ITS WORLD CONGRESS TOKYO 2013

# プレナリーセッション2

ITS Japan

**10月16日（水）9:00-10:30**

**タイトル：Improving Quality of Mobility in Mega-cities/regions**

## 台風により中止

東京都都市整備局
都市基盤部部長
**西倉鉄也**

中国交通部
公路科学研究所
総工程師
**Xiaojing Wang**

ミシガン州運輸省
ディレクター
**Kirk Steudle**

トルコ運輸省
戦略開発総局長
**Erol Yanar**

モデレータ
**Anchor**
**NHK World**
**Asia Biz Forecast**
**福島 優子**

# プレナリーセッション3

**10月18日（金）14:00-15:00**　聴講者：約420人

**タイトル：**

**Beyond ITS : from conventional approaches to four aspects of “open”**

**ミシガン大学交通研究所**
**ディレクター**
**Peter Sweatman**

**HERE社(独）**
**シニアディレクター**
**Bruno Simon**

**ITS Japan副会長**
**坂内　正夫**

**モデレータ**
**Anchor and Reporter,**
**NHK World TV and**
**NHK World Radio**
**山本ミッシェールのぞみ**

20th ITS WORLD CONGRESS TOKYO 2013

ITS Japan

# Another Open's for ITS and Beyond

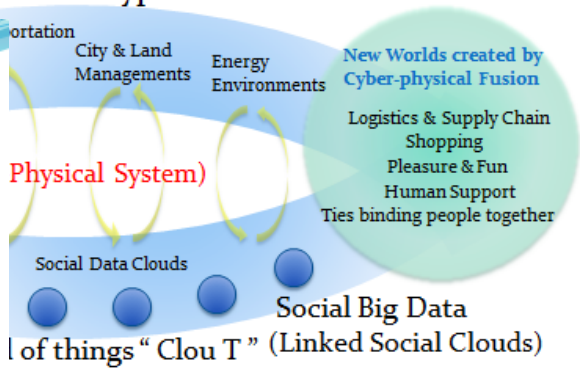
(坂内先生のスライドより)

## Four "Open"s for ITS & Beyond

1. Open to the "Human & Society"
2. Open to the "Cyber World"
3. Open to the "Global Collaboration"
4. Open to the "Dream"

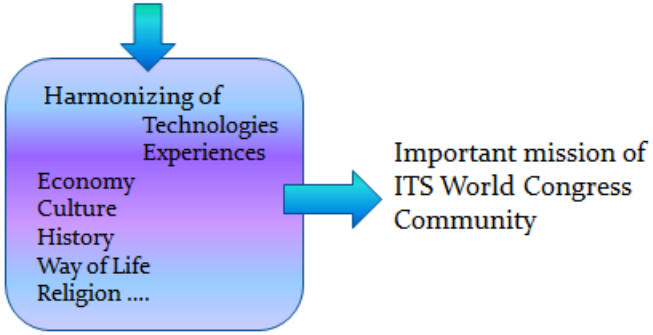
## Open to the Cyber-World

ITS has been typical and successful CPS




## Open to the Global Collal

The Next ITS should solve the global com




## Open to the Dream

ustry, society, community requires "dream".

How about ITS?

- Autonomous driving car
- Wearable car
- Realization of the true "livable society"
- Realization of the true "tender-hearted" society

⋮

20th ITS WORLD CONGRESS TOKYO 2013

# エクゼクティブセッション

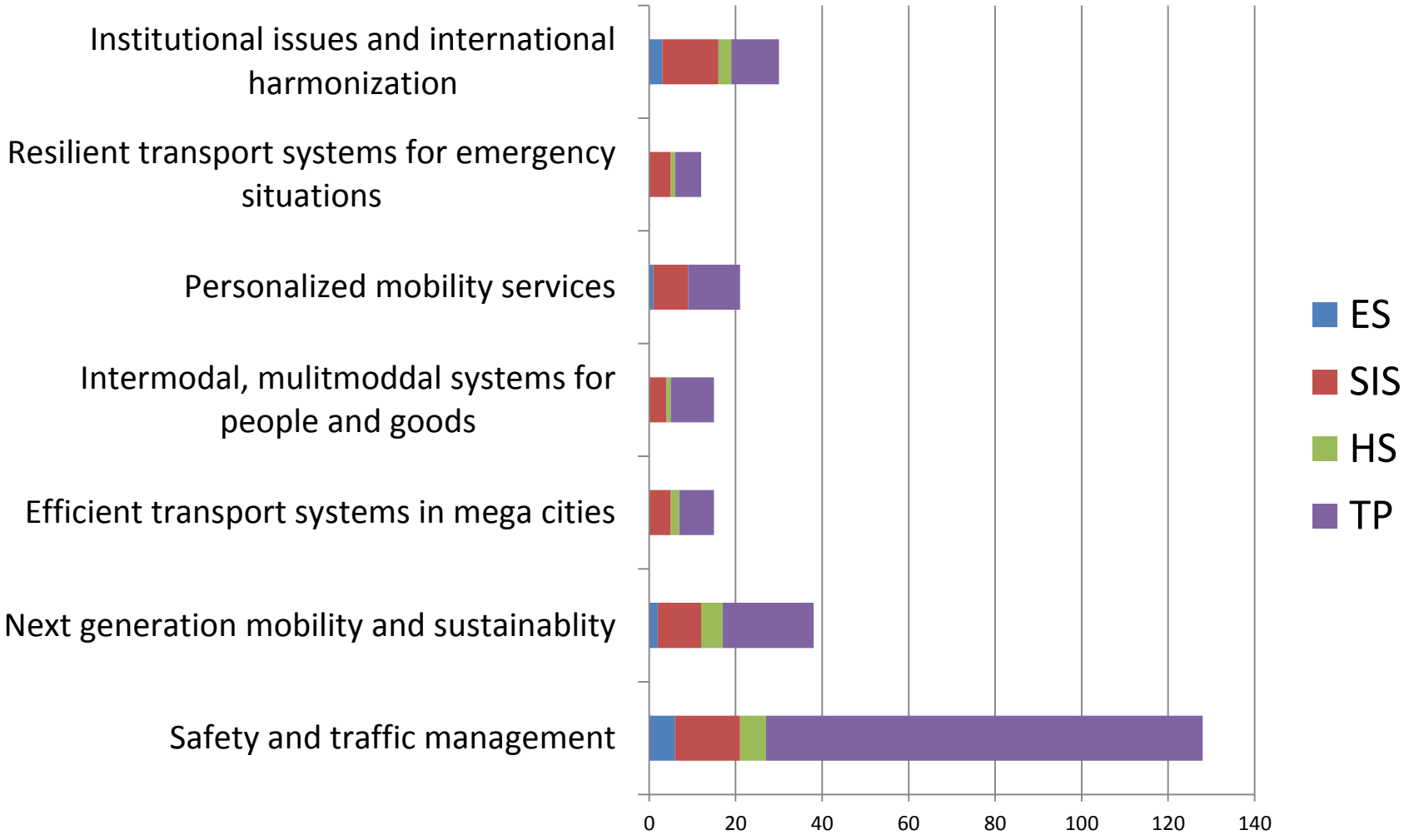
ITS Japan

| | | |
|---|---|---|
| 1 | Benefits and Returns on Investment for Real World ITS Applications | ITS導入による交通課題解決の効果、投資対効果 |
| 2 | Emerging business opportunities for GNSS technology | 衛星測位技術を活用したビジネスチャンス |
| 3 | Autonomous Vehicles -- The Path to Implementation | 自動運転 – 実用化への道のり |
| 4 | International Spectrum Allocation Policies | 各国の周波数割り当て政策 |
| 5 | Connected Vehicles-Preparing for Deployment | 協調型システムの実用化に向けて |
| 6 | ITS Policy and Vision | ITSの政策とビジョン |
| 7 | Progressing safety for all users through ITS | 世界におけるITSを活用した交通安全の取り組み |
| 8 | Cooperative strategies for urban traffic management | 都市の協調型交通マネッジメント戦略 |
| 9 | Deployment of cooperative safety and energy efficient services | 協調型安全運転支援およびエネルギー効率向上 |
| 10 | ITS enabling next generation mobility | 次世代モビリティーを支えるITS |
| 11 | The New Normal: the integration of ITS with other technology sectors | ITSと他の技術分野との融合 |
| 12 | International cooperation – acceleration for ITS development and deployment | ITSの開発および実用化における国際連携 |

20th ITS WORLD CONGRESS TOKYO 2013

# トピックス別セッション数

ITS Japan



# 展示オープニングセレモニー

**10月15日（火）11：15～11：30　会場：アトリウム**

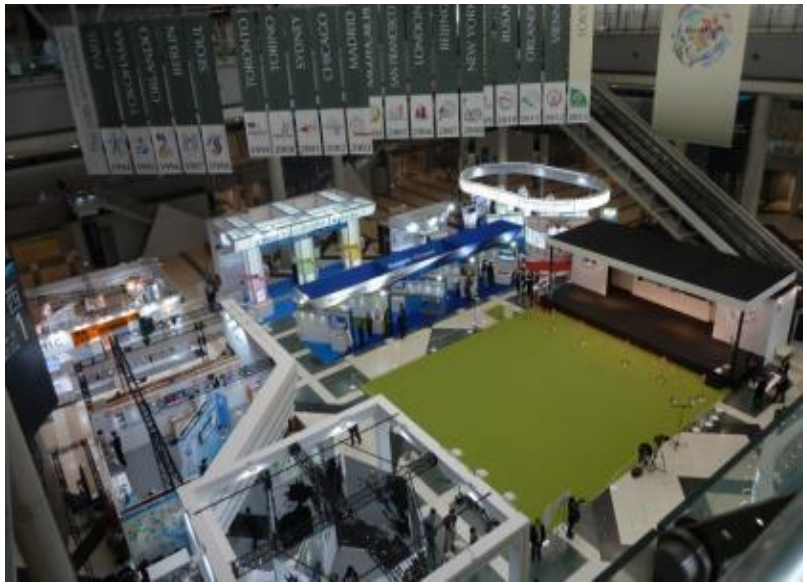
展示会場の開会リボンカットセレモニーが、欧・米・アジア太平洋の3極よりゲストを招いて行われました。

展示場のオープニングに先立って、秋篠宮文仁親王同妃両殿下にご高覧いただきました。

# 展示風景（1/4）

出展者数： 29ヵ国（AP12、欧米17）、238社/団体（日本114、海外124（AP44））

アトリウムでの展示風景



アトリウム展示風景

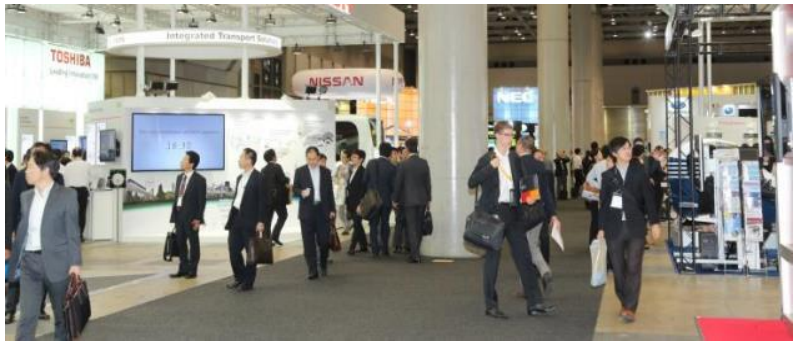
東京都ブース

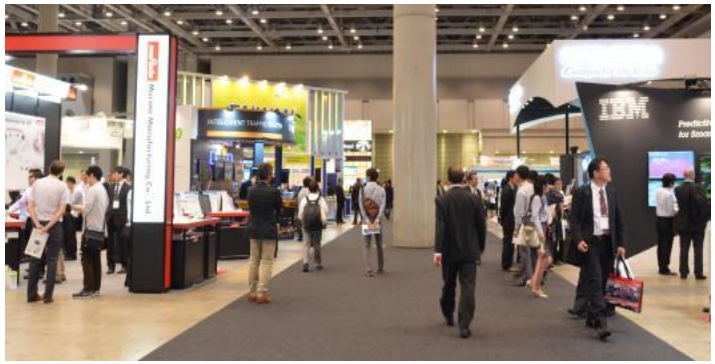
3極合同ブース
(ERTICO - ITS America - ITS Japan)

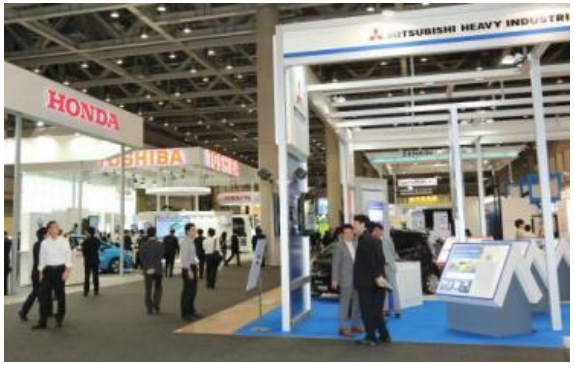
20th ITS WORLD CONGRESS TOKYO 2013

# 展示風景(2/4)

ITS Japan



VIP展示ツアー

新藤総務大臣視察

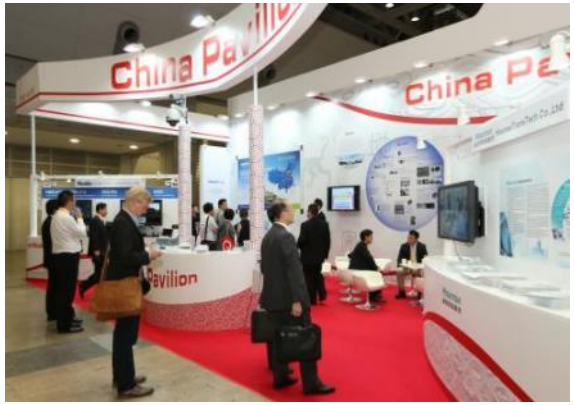
猪瀬都知事視察

# 展示風景（3/4）

## アジア太平洋地域からの出展

ITS Australia

ITS Korea



中国ITS センター合同ブース

ITS台湾合同ブース

ITSアジア太平洋ブース

# 展示風景(4/4)

米国合同ブース
(ITS America, ITS Canada他)

欧州合同ブース
(ERTICO、EU他)

東京都ブース

3極合同ブース
(ERTICO、ITS America、ITS Japan)

# ショーケースデモンストレーション(1/3)

4つのカテゴリーで計20のデモが用意されました。台風の影響で一部中止を余儀なくされましたが、大会を通じ、のべ3600人の参加がありました。

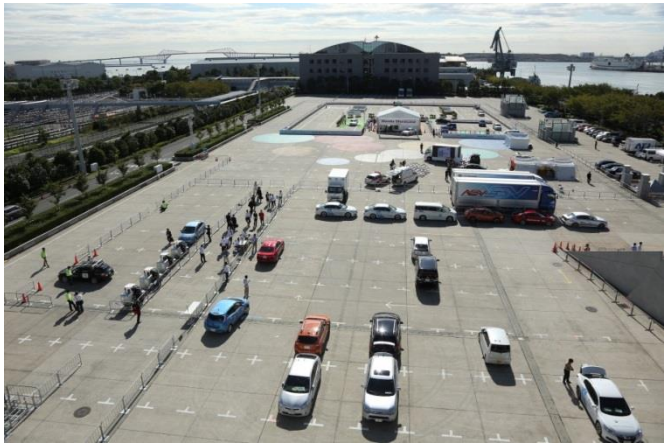
- Safety and traffic management（S01-S10)
- Next generation mobility and sustainability（N01-N04）
- Personalized mobility services（M01-M03)
- Resilient transport system for emergency situations（R01-R03)

公道利用：
次世代協調型システム（ITS Green Safety）、
情報提供高度化（次世代VICS、震災時提供、クラウド連携、ITSスポット補完）、
高度運転支援、信号制御

会場施設：
屋外：自動運転、安全運転支援、
災害時ネットワーク
屋上：駐車支援、スマートチャージングージング
屋内：歩行者ナビゲーション

ショーケースブース / 展示ホール中央

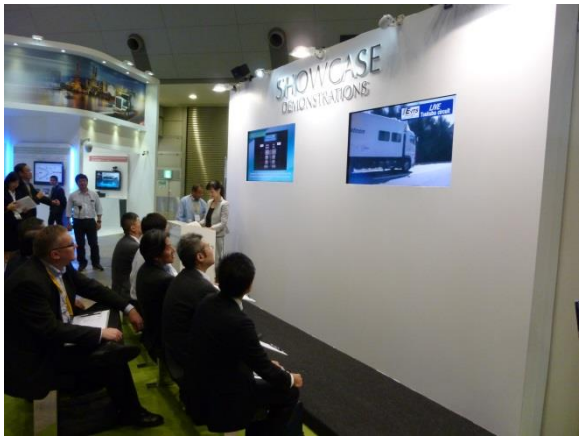
# ショーケースデモンストレーション(2/3)



屋外展示場 / 公道発着場所

屋上展示場

## <ショーケースブースにおけるライブ中継>




【N03】エネルギーITS
自動運転隊列走行システム

【M 02】長崎市 路面電車における
LRV位置情報配信システム「ドコネ」

【S10】画像センサーを活用した
交差点信号制御

# ショーケースデモンストレーション(3/3)

## 高度運転支援・自動運転デモンストレーション（K区画）　10/15から19

3極連携による高度運転支援・自動運転のデモンストレーションが自動車メーカー11社および産業技術総合研究所の参画を得て行われました。 15デモ。参加者2700名。

デモ会場 / 青海西臨時駐車場

駐車場内デモ（国内1社）

C-ACC/ACC関連

公道デモ（国内2社、海外3社）

衝突回避関連

駐車場内デモ（国内8社、海外1社）

# テクニカルビジット

テクニカルビジットも台風の影響を受け、一部実施出来ないケースがありました。
352人が参加されました。

TV1 警視庁交通管制センターと東京都防災センター
TV2 「ゆりかもめ」中央指令室と公共交通乗車体験
TV3 臨海トンネル監視センターと大井コンテナターミナル
TV4 先進の交通管制センターとVICS
TV5 横浜みなと未来V2I ～交通管制センターの見学と路車協調システムの体験～
TV6 横浜スマートモビリティ
TV7 柏ITSスマートシティ
TV8 Hondaスマートホームシステムとソーラー水素ステーション
TV9 高速道路交通管制センターと保守運用設備

**テクニカルビジットバス**
**（東京ビッグサイト発着）**

**【TV 6】**

**【TV 7】**

**【TV 8】**

**【TV 9】**

# ポストコングレスツアー

世界会議開催期間の後に行われるツアーとして5つのツアーが実施されました。
幸い台風の影響は受けず、65人が参加されました。

【PT 1】あいち/豊田 ITSサムライツアー
とよたエコフルタウン

【PT 2】長崎 EV＆ITS
EV充電スタンド

【PT 3】新東名高速道路ツアー
富士保全サービスセンター

【PT 5】広島 路面電車 – 自動車間
通信型ASVデモ

【PT 6】エネルギーITS
自動運転隊列走行システム

20th ITS WORLD CONGRESS TOKYO 2013

# 主催者特別イベント（一覧）

ITS Japan

| | 10/15（火） | 10/16（水） | 10/17（木） | 10/18(金） |
|---|---|---|---|---|
| 9:00 | | 各種映像放映<br>・遠隔地SC映像配信<br>・東<br>・セ<br>・K地区3極合同デモ<br>映像　等<br>台風により中止 | 遠隔地SC映像配信<br>・エネルギーITS自動運転隊列走行システム | 東京大会映像<br>・K区画自動運転関連デモ |
| 10:00 | | | 東京大会映像 | 超小型モビリティと情報通信との融合がもたらす新たな生活支援<br>（国土交通省自動車局） |
| 11:00 | 展示会リボンカット | 超小型モビリティと情報通信との融合がもたらす新たな生活支援<br>（国土交通省自動車局） | 日本のITSが切り拓く道路交通の未来～交通事故や渋滞のない道路交通を目指して～<br>（国土交通省　道路局） | 遠隔地SC映像配信<br>・エネルギーITS自動運転隊列走行システム |
| 12:00 | 展示会VIP見学ツアー | | ・ES、TS、ビッグデータ公開セッション、総務省セッション、都知事展示視察<br>おもてなし生花体験 | |
| 13:00 | 世界のITSリーダーによる<br>公開トークセッション<br>高度運転支援と自動運転の将来<br>(3極共同企画) | 世界のITSリーダーによる<br>公開トークセッション<br>ITSビッグデータ<br>(3極共同企画) | 東京都市民向け<br>公開トークセッション<br>ITSと渋滞解消　（東京都） | 東京都市民向け<br>公開トークセッション<br>ITSその現在と未来　（東京都） |
| 14:00 | | ITSを支える情報通信技術<br>（総務省　移動通信課） | ITS・お役立ち<br>アプリ大集合<br>(ITS Japan) | |
| 15:00 | | | | |
| 16:00 | 遠隔地SC映像配信<br>・エネルギーITS自動運転隊列走行システム<br>東京大会映像<br>・開会式、ウェルカムレセプション | 遠隔地SC映像配信<br>・エネルギーITS自動運転隊列走行システム<br>東京大会映像<br>・VIPSC視察、リボンカット、PL1、ES、自動運転公開セッション、展示会、レセプション | 遠隔地SC映像配信<br>・エネルギーITS自動運転隊列走行システム<br>東京大会映像<br>・ES、TS、ビッグデータ公開セッション、総務省セッション、都知事展示視察<br>おもてなし生花体験、GALAディナー | |
| 17:00 | | ITS将来ﾋﾞｼﾞｮﾝ発表会（ ITS Japan ） | | |
| 18:00 | AP地域主催レセプション | | | |

# 主催者特別イベント (1/3)
## 公開トークセッション

**テーマ1：高度運転支援・自動運転　(10月15日　12:45-13:45）**

聴講者　580

**テーマ2：ITSビックデータの可能性　(10月16日　12:45-13:45)**

聴講者　270

# 主催者特別イベント (2/3)

## 各種セッション

日本のITSが切り拓く道路交通の未来（国交省　道路局）

超小型モビリティと情報通信との融合がもたらす新たな生活支援（国交省　自動車局）

ITSを支える情報通信技術（総務省　移動通信課）

“エネルギーITS自動運転隊列走行システム“ライブ映像

# 主催者特別イベント (3/3)

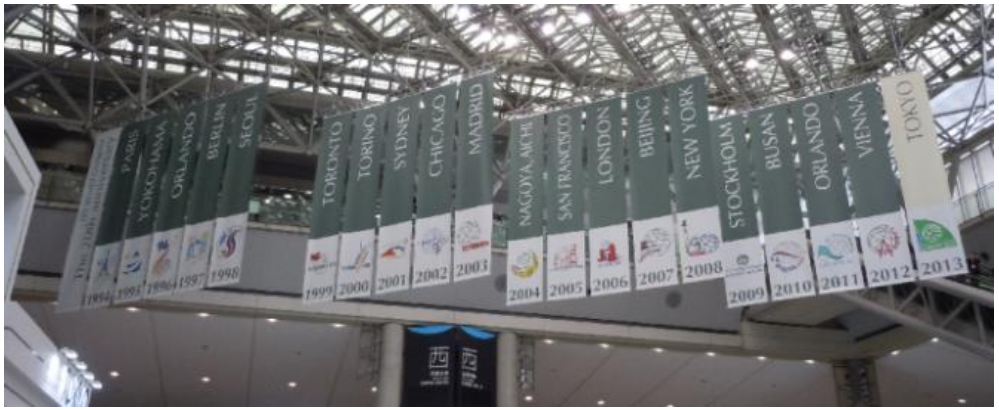
## 展示イベント

**20周年記念展示**

**・ITS世界会議の歴史**

**・ITSの歩み: 世界のITSの開発と実用化、20年の歩み**

歴代の大会ロゴによる幟



ITS世界会議の歴史

ITSの歩み

# スペシャルイベント

**Galaディナー**
**10月16日（水） 19:30～22:00**
**会場:椿山荘 オリオン**

# 閉会式（1/4）

**10月18日（金）15：00～16：00**

渡邉組織委員長の閉会挨拶、世界会議理事会の矢野議長から参加者実績等の報告が行われ、続けて以下が執り行われました。

**渡邉組織委員長**

**矢野世界会議理事会議長**

## 1．本大会の総括（Summary of WC2013）

欧州、米国、アジア太平洋との協力でまとめた、本大会の総括を`Snapshot`として国際プログラム委員会（IPC）の大口委員長が報告しました。

**大口IPC委員長**

# 閉会式（2/4）

## 2. 優秀論文表彰

### サイエンティフィックペーパー

### テクニカルペーパー

**日本からの受賞者（サイエンティフィックペーパー）**

*Development of a Car-Following Tendency Prediction Method and Its Application to a Forward Collision Warning System*

・Hirofumi Aoki, Osamu Ozaki, Toyota Motor Corporation, Japan

# 閉会式（3/4）

## 3. 次回以降のITS世界会議の紹介

デトロイト（2014年）、ボルドー（2015年）、メルボルン（2016年）の代表が、今後のそれぞれの大会への参加を呼びかけました。

デトロイト(2014年)
James Barbaresso

ボルドー(2015年)
Nathalie Delattre　André Reix

メルボルン(2016年)
Brian Negus

# 閉会式（4/4）

## 4. パッシング・ザ・グローブ

恒例のセレモニーではシンボルの地球儀が、東京から次回開催地のデトロイト組織委員会にバトンタッチされました。

## 5. エンディング

早稲田大学グリークラブによる歌で、大会の成功を祝すとともに、デトロイトでの再会を約束し閉会しました。

# 今大会の特徴

Chairperson summaryからの総括

| EU | AM | AP |
|---|---|---|
| 高度運転支援・自動運転<br>ビックデータ処理<br>さらなる国際連携<br>緊急時対応 （迅速なる情報収集配信） | | |
| 迅速なる技術開発と実適用の加速 | | |
| | | メガシティでの移動の効率の追求 |
| さらなるIT技術の適用による移動の効率の追求 | | |
| 安全の追及・高度化した交通管理システムの実現 | | |
| | 次世代の人材育成 | |

20th ITS WORLD CONGRESS TOKYO 2013

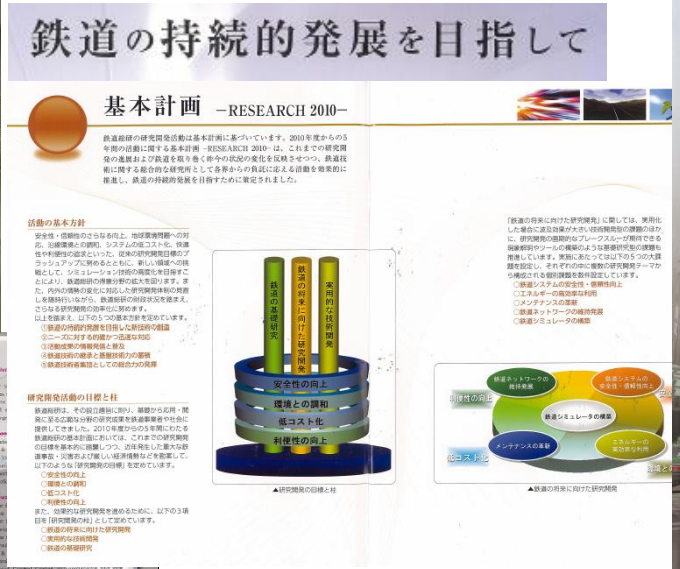
# 今大会の特徴

## 公共交通

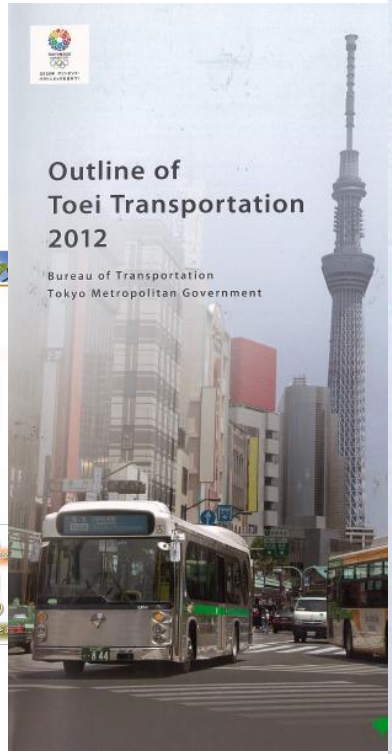
ITS Japan

### 東京地下鉄

### 鉄道総合技術研究所




### 東京都交通局



### JR東日本

**SIS43 - Lessons Learned During Natural Disasters: Using an**
**Protecting Public Transport ITS**

Thursday, October 17, 2013, 11:00-12:30 | C703

Lessons learned or best practices using and protecting public transport ITS when dealing with emergency situations
disasters has become extremely important over the past several years. This session will explore the simple lessons lear
worked, what did not work, how the damage is assessed, and how to determine when and how to restart service. So
practical lessons learned that may be covered in this session include: How was ITS utilized during and after the disaster
communication facilitated by ITS during and after the event? What was the least expensive, easiest and most effective
one thing will an agency do differently in the future? Finally, this session will cover those issues that are common across th
regions.

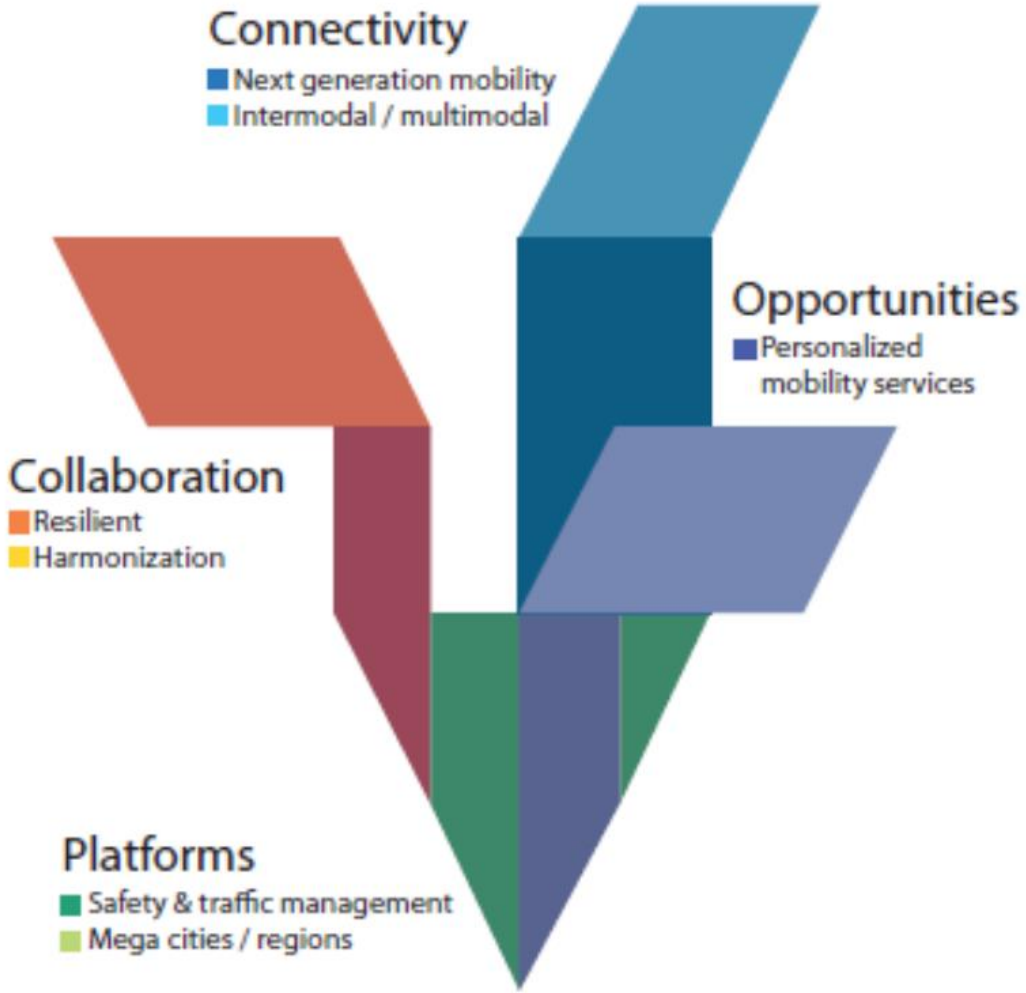
**Organizer & Moderator**
Carol Schweiger, Vice President, TranSystems Corporation, USA

**Speakers**
Masaki Ogata, Vice Chairman, East Japan Railway Company, Japan
Melanie Crotty, Director, Metropolitan Transportation Commission, USA
Yvonne Huebner, Senior Research Associate, Newcastle University, United Kingdom

20th ITS WORLD CONGRESS TOKYO 2013

# 今大会の特徴

ITS Japan




さらなるIT
る移動の

安全の追
通管理シ

AP

移動の効率

# ITS Japanからの発信　（本日の講演次第）

公開トークセッション

ITS世界会議の歴史

ITSの歩み

3.　ITS世界会議東京：欧・米・アジアパシフィック共同イベント（林氏）

ショーケース

白熱
討論会

4.　ITS　GREEN　Safetyの成果（内村氏）

# ITS Japanからの発信 （本日の講演次第）

ITSお役立ちアプリ大集合

5. 地域から始まるオープンITS（東條氏）

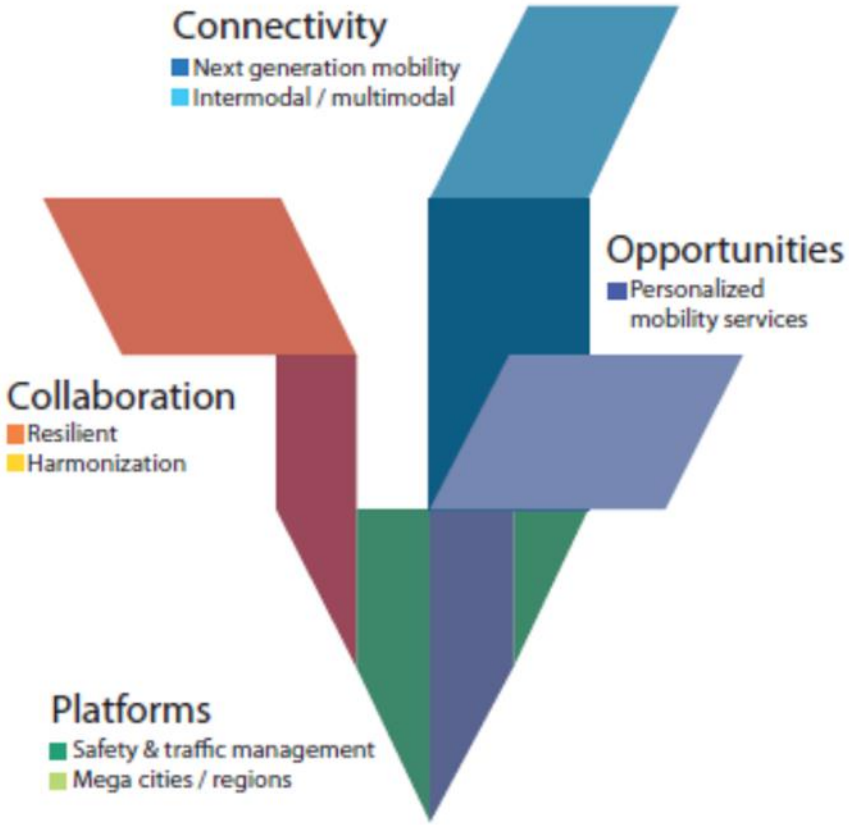
HS16/ITSガイドライン

JICAセミナー
行政官クラスによる
展示会見学

6. ITSの戦略的国際展開（赤塚氏）

将来ビジョン
“ITSによる未来創造の提言”

7. ITSの将来ビジョンの紹介（小林氏）




ご清聴ありがとうございました。